

第 27 回社会系教科教育学会・第 32 回鳴門社会科教育学会

合同研究大会 プログラム

1. 主催 社会系教科教育学会，鳴門社会科教育学会
2. 後援 徳島県教育委員会，鳴門市教育委員会，
兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会，加東市教育委員会
鳴門教育大学，兵庫教育大学
3. 期日 2016年2月20日（土）・21日（日）
4. 会場 鳴門教育大学 講義棟
5. 日程

第1日目（2月20日）

9:30	10:00	12:00	13:30	16:00	16:30	17:30	19:30
	受付	自由研究発表 I	理事会 昼食	シンポジウム	総会 社会系 鳴社学	移動	懇親会

第2日目（2月21日）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30
	受付	課題研究発表 I・II	昼食	自由研究発表 II

問い合わせ先

合同研究大会実行委員会

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748

鳴門教育大学 社会系コース

TEL&FAX 088-687-6361（井上奈穂）

Eメール：essdra27@gmail.com

ウェブサイト <http://essdra27.jimdo.com/>

第1日：2月20日（土）

自由研究発表Ⅰ：10：00～12：00（各発表20分・質疑10分）

【第1分科会】B102

司会 水山光春（京都教育大学）

(1) オーストラリア地理カリキュラムの展開

ーニューサウスウェールズ州の特徴ー

○吉田剛（宮城教育大学）・管野友佳（宮城教育大学学部生）

(2) オーストラリア・ヴィクトリア州地理カリキュラムの構成

○戸村遼平（宮城教育大学大学院）・吉田剛（宮城教育大学）

(3) 日米法関連教育の比較研究

ーTeen Peer Courtを手がかりにしてー

中谷真梨子（兵庫教育大学大学院）

(4) イギリスのキャラクター教育の動向と特質

酒井喜八郎（南九州大学）

【第2分科会】B103

司会 岡崎均（大阪体育大学）

(1) リスク・マネジメントの視点を取り入れた小学校社会科地域学習の開発

ー第3学年単元「梅干し工場ではたらく人びとの仕事」の場合ー

平林幸（兵庫教育大学大学院）

(2) 多様な見方で地域を考える小学校中学年社会科の単元開発

ー小学校4年生単元「郷土に伝わる願い」を事例としてー

瀬戸山幹（滋賀県甲賀市立綾野小学校）

(3) 見方考え方の成長を意識した小学校社会科の授業構成

ー第4学年単元「くらしと水」の開発を通してー

○角田将士（立命館大学）・平田浩一（広島県立教育センター）

(4) 概念形成の視点に基づく空間認識の枠組み作りによる小学校地図学習の改善

ースケール認識形成を意図した小学校における縮尺指導の改善を視点としてー

小谷恵津子（畿央大学）

【第3分科会】B104

司会 草原和博（広島大学）

- (1) 子どもの経験や既得知識を踏まえた社会認識形成の方略
－「知のモデル化」によるシミュレーション教材を活用して－
高橋勝也（鳴門教育大学大学院・東京都立桜修館中等教育学校）
- (2) 教師はどのように理論を実践化するか（2）
～小学校価値判断学習における社会認識のあり方について～
紙田路子（浜田市立松原小学校）
- (3) 社会系教科目における価値学習の実態と課題
－子どもたちの価値判断根拠の実態調査から－
大杉昭英（国立教育政策研究所）・○須本良夫（岐阜大学）・橋本康弘（福井大学）
○中原朋生（川崎医療短期大学）・田中伸（岐阜大学）
- (4) 社会系教科目における価値学習と知識観（2）
－授業者と学習者の知識観－
大杉昭英（国立教育政策研究所）

【第4分科会】B105

司会 木村博一（広島大学）

- (1) 子どもの分析的思考を組み込んだ小学校社会科の授業開発
－アブダクションによるコードの増殖を中心として－
井上和也（兵庫教育大学大学院・兵庫県伊丹市立緑丘小学校）
- (2) 社会科固有の「読解力」形成のための授業開発研究Ⅲ
－第3学年単元「酒米の王様 山田錦のひみつ」の場合－
○關浩和・○吉水裕也・原田智仁・米田豊（兵庫教育大学）
○森清成・土松拓生（兵庫教育大学附属小学校）
- (3) 「創造的認知のモデル」を活用した社会科授業の構築
～感情移入（追体験）型授業への応用と授業開発～
原紺政雄（広島市立己斐小学校）
- (4) 危機対応マネジメント育成に関わる社会科授業評価スタンダード開発研究
關浩和（兵庫教育大学）

【第5分科会】B203

司会 南浦涼介（山口大学）

- (1) メタヒストリーの視点を組み込んだ中等歴史授業開発
- 単元「赤穂事件と忠臣蔵」の場合 -

横矢咲穂（兵庫教育大学大学院）

- (2) 中等社会科における文化史学習改善の一考察
- 「歴史家のように考える」学習方法に着目して -

阿部靖（香川県まんのう町立満濃中学校）

- (3) 歴史学習における関連付けの論理と活用
- 相互連関を導出する意義と授業の構成 -

山内敏男（愛知県豊川市立音羽中学校）

【第6分科会】B205

司会 宇都宮明子（佐賀大学）

- (1) 主権者教育としての歴史カリキュラム開発
- 理性的判断力の育成をめざして -

加藤一誠（鳴門教育大学大学院・愛媛県立伊予高等学校）

- (2) 持続可能な発展に視点を置いた高校世界史の教育内容開発
- 単元「中東世界の宗教対立」を事例として -

祐岡武志（兵庫教育大学大学院・奈良県立法隆寺国際高等学校）

- (3) 世界史教育における解釈学習の実践

空健太（岐阜工業高等専門学校）

- (4) 生徒の自我関与を図る高校日本史の授業づくり
- 「妖怪」を用いて -

堤敏浩（佐賀県立牛津高等学校）

【第7分科会】B206

司会 吉田正生 (文教大学)

- (1) 板書を通して対話の活性化を図る社会科学習の展開
— 第6学年「世界に歩み出した日本」を事例として—
河野富男 (香川県宇多津町立宇多津小学校)
- (2) 「持続可能性」に対する見方・考え方を成長させる中学校社会科公民的分野の授業開発
～小单元「ペットボトルリサイクル」を事例に～
大津圭介 (大野城市立平野中学校)
- (3) 人権学習アクティビティ「ランキング」の授業実践研究
— 「震災と人権」の授業分析を通して—
河野辺貴則 (上越教育大学大学院)
- (4) 時間軸と空間軸とを連携させた地理歴史科教育法の授業
伊藤裕康 (香川大学)

【第8分科会】B207

司会 吉村功太郎 (宮崎大学)

- (1) 協働的問題解決を視点とした社会科授業開発
— 第5学年单元「自然災害を防ぐ」の場合—
佐藤太紀 (兵庫教育大学大学院)
- (2) 真正の歴史学習の授業構成に関する考察
— 歴史的共感概念をめぐる議論を手がかりにして—
中村洋樹 (愛知教育大学)
- (3) 「真正の評価」論に基づく主権者教育プログラムの開発研究
— 「どうする？スマートフォン」の実践を通して—
○岸本康晃 (岡山大学学部生)・岡島春恵・鈿悠介 (岡山大学大学院)
○大西智也 (岡山大学大学院)・桑原敏典 (岡山大学)
- (4) 腎移植を手がかりとした生命倫理学習
— 規範倫理学を応用した授業実践—
石原純 (神戸市立須磨翔風高校)

(1) 社会科学習における「体験」と「経験」

－概念を言語化する過程に着目して－

橋本裕史（兵庫教育大学大学院・兵庫県明石市立二見小学校）

(2) 公民科「倫理」における批判的思考力を育む授業開発

藤本真司（兵庫教育大学大学院）

(3) 戦後社会科教育の変遷

－1970年代までの経済教育の変遷を中心に－

保立雅紀（兵庫教育大学大学院・東京工業大学附属科学技術高等学校）

(4) ユニバーサルデザイン（UDL）に基づく社会科学習の理論と実際（2）

峯明秀（大阪教育大学）・滝沢知之・安野雄一（大阪教育大学附属平野小学校）

社会科授業研究の実証性を問う
—研究目的と方法の違いに着目して—

コーディネータ 井上奈穂 (鳴門教育大学)
指定討論者 山田秀和 (岡山大学)

近年、学会や研究会等において、社会科教育学の特質や有効性についての議論が多く見られるようになった。このように、「前提」を問うような議論が出る背景には、「社会科教育学」の存立が、様々な面で危機に瀕している、もしくは、危機に瀕するのではないかという予見があるといえよう。

そもそも、「社会科教育学」では、「社会諸科学の研究成果や教育現場の社会科教育の現実を踏まえ「使える理論」の構築」をすることが目指されてきた。しかし、「社会科教育学」が発展していく中で、研究者、実践者ともに、研究成果が専門分化し、その特質や意図についての共通認識が構築されにくくなり、「使える理論」の多様な側面が見えにくくなっているのではないか。更に言えば、研究者・実践者相互の持つ研究方法の違いに由来する「実証性」の捉え方の違いから、それぞれの研究成果を評価することが難しくなっているのではないだろうか。

そこで、本シンポジウムでは、社会科教育学の特に社会科授業研究に焦点を当て、「社会科授業研究の実証性を問う」と題し、研究の実証性とそれに伴う制度的・社会的・学問的な観点から見た有効性という側面から、登壇者それぞれの研究成果の学校現場、学術研究の場における立ち位置、そして、社会的意義について、ご説明頂き、最後に、社会科教育研究の目的と方法の今後についてのビジョンが提案できればと考えている。

(1) 子どもの社会認識形成過程の質的帰納的分析

—科学性の追求から感受性の追求へ—

岡田了祐 (広島大学)

(2) 子どもの授業評価を活用する授業理論検討方法の開発

—授業開発研究の実証性を高めるために—

藤瀬泰司 (熊本大学)

(3) 子どもの心理・発達にもとづく社会科授業研究の目的と方法

—中学生の社会的思考力・判断力を育成する授業の開発を事例として—

加藤寿朗 (島根大学)

総会 (社会系教科教育学会 : B 1 0 1) 16:00~16:30

総会 (鳴門社会科教育学会 : B 1 0 4) 16:00~16:30

懇親会 (ルネッサンスリゾートナルト) 17:30~19:30

社会系教科における「授業開発研究」の実証性を問う

コーディネータ 二井正浩 (国立教育政策研究所)
指定討論者 中本和彦 (四天王寺大学)

課題研究 I では、シンポジウムでの議論を受けて、社会科教育研究における「授業開発研究」に着目する。

「授業開発研究」では、学校種の違い、発達段階、学習内容の特質などのいずれの面に着目するかで、研究成果の「実証性」に対する捉え方が変わる。そこで、授業開発に関わる着眼点の異なる研究者・実践者にご登壇いただき、自らの研究では、何のために (目的)、何を (対象)、どうやって (方法)、考察しているのか、「実証性」と「有効性」という観点から、自身の研究を対象化してご発表頂き、相互の共通点・相違点を検討頂く。

最後に、「授業開発研究」の成果の学校現場、学術研究の場における立ち位置、そして、社会的意義について検討を深めていきたい。

- (1) 子ども理解に基づく問題解決学習の授業デザイン
-座席表の活用と「思考体制」への着目-

横山幸生 (熊本市立五福小学校)

- (2) 社会科授業における議論の効果と意義に関する実証的研究
-中学校社会科地理的分野小单元「南アメリカ州」の開発を通して-

井上昌善 (兵庫教育大学大学院・神戸市立伊川谷中学校)

- (3) 中学校社会科における生徒の思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり
-学び合いを手だてとして-

大谷啓子 (徳島市城西中学校)

社会系教科における「授業評価研究」の実証性を問う

コーディネータ 吉水裕也（兵庫教育大学）

指定討論者 藤本将人（北海道教育大学釧路校）

課題研究Ⅱでは、シンポジウムでの議論を受けて、社会科教育研究における「授業評価研究」に着目する。

「授業評価研究」には、実践された「授業」を評価する研究と、児童／生徒の「学習」の質を評価する研究がある。ここでは、これらの研究に関わる研究者・実践者にご登壇いただき、自らの研究では、何を（対象）、どのように（方法）、考察しているのか、「実証性」とそれに伴う「有効性」という観点から、自身の研究を対象化して発表頂き、研究目的の違いを踏まえた共通点・相違点を検討頂く。

最後に、「授業評価研究」の成果の学校現場、学術研究の場における立ち位置、そして、社会的意義について検討を深めていきたい。

(1) 仮説検証型授業研究における仮説設定の意味と学習評価

佐藤克士（共栄大学）

(2) パフォーマンス評価の実践について

— 中学校 公民的分野を例に —

三藤あさみ（横浜市立小田中学校）

(3) 「学習科学」研究からの社会科省察

— 概念活用の思考評価を事例に —

○豊嶋啓司（福岡教育大学）・柴田康弘（飯塚市立小中一貫教育校 穎田校）

第2日 2月21日(日)

自由研究発表Ⅱ：13:00～15:30(各発表20分・質疑10分)

【第10分科会】B102

司会 石川照子(兵庫県西宮香風高等学校)

- (1) 小中学校における歴史実践教育の段階化
ーベルリン市・ブランデンブルク州の2015年版学習指導要領の場合ー
服部一秀(山梨大学)
- (2) 日独歴史意識研究の比較考察
ー歴史教育学研究における教育目的概念に焦点化してー
宇都宮明子(佐賀大学)
- (3) 「過程追跡」手法による現代史事象解釈援用の可能性について
～「ベルリン危機ーキューバ危機ーエリゼ条約締結」の連関を例に～
松村淳(山口県宇部市立上宇部小学校)
- (4) 主権者意識を高める高校日本史「近代における普選実施」の授業開発
ー構成主義的探求学習を通してー
粟谷好子(広島大学附属中・高等学校)

【第11分科会】B103

司会 伊藤裕康(香川大学)

- (1) 地域活性化に資する付加価値提案能力の育成をめざす小学校社会科授業開発
ー第4学年小単元「私たちのまち再発見!まちづくりアイデアコンテストを開こう」の場合ー
山本哲也(鳴門教育大学大学院・大阪市立大隅西小学校)
- (2) 複数の社会事象を往還的に探究する小学校社会科授業設計
～第5学年「農業のさかんな地域」の淡路島レタスと孀恋キャベツの事例をとおして～
石田誠(兵庫教育大学大学院・兵庫県明石市立沢池小学校)
- (3) 「仮説のシステム」を用いた動態的地誌学習の授業設計
ー中核事象の位置付けに着目してー
下池克哉(兵庫教育大学大学院・鹿児島県東串良町立東串良中学校)
- (4) 官学連携による地域学習としての「宇治学」副読本作成と現場での活用に関する研究
ー第3学年「宇治茶のステキをつたえよう」を事例にー
橋本祥夫(京都文教大学)
- (5) アクティブラーニングによる中学地理学習
～教材発掘から”爆買”の授業まで～

【第12分科会】B104

司会 須本良夫 (岐阜大学)

- (1) 経済的合理性の視点を組み込んだ小学校社会科授業の設計
—第4学年「わたしたちの県 農業のさかんな淡路島」を事例として—
松浪軌道 (兵庫教育大学大学院・西宮市立名塩小学校)
- (2) すべての学習者に問題意識をもたせるための一考察
—「なくそう、こわい火事(小学4年)」の実践をとおして—
下館史嗣 (三田市立三田小学校)
- (3) 小学校社会科における防災・減災教育の授業開発研究
—第5学年「自然災害を防ぐ」の場合—
末永琢也 (三木市立自由が丘東小学校)
- (4) リスク・コミュニケーションの視点を導入した中学校社会科防犯学習の授業開発
野口権人 (兵庫教育大学大学院)
- (5) 地域学習のカリキュラム開発を支える学問的知見について
—香川大学教育学部附属高松中学校における授業実践を通して—
○鈴木正行 (香川大学)・池田良・小野智史 (香川大学教育学部附属高松中学校)

【第13分科会】B105

司会 松岡靖 (京都女子大学)

- (1) 小学校社会科地域学習における論争問題の授業開発
—嫌悪施設建設をめぐる—
片田暁美 (兵庫教育大学大学院・兵庫県淡路市立中田小学校)
- (2) 子どもとともにつくる「板書」による知識の構造化
—小学校第5学年「自然と社会の条件と人々の暮らし」の実践をとおして—
田淵博宣 (兵庫教育大学大学院・兵庫県明石市立中崎小学校)
- (3) 歴史的分野における知識偏重を改善する探究学習
—小学校社会科の既習知識の活用と「子どもとつくる教科書」—
太田昌吾 (兵庫教育大学大学院)
- (4) 小学校社会科政治学習の授業改善
—第6学年小単元「1学期の歴史人物のNo.1を決めよう」の場合—
多田昌司 (徳島市川内北小学校)
- (5) 子どもの貧困問題をどう小学生に教えるか
—小学校社会科の授業開発試案—

【第14分科会】B205

司会 小林隆（佛教大学）

- (1) 中等社会系教科の意思決定における学習支援の論理
— 単元「どうあってほしい？徳島の未来」を題材として—
益井翔平（鳴門教育大学大学院）
- (2) 多重市民権社会に対応する価値認識形成をめざす現代史授業開発（2）
— 小単元「誰が守るの？地球環境問題」の場合—
山本大貴（広島市立広島特別支援学校）
- (3) 既習知識の活用場面を組み込んだ中学校社会科歴史的分野の大観学習
岡野裕子（兵庫教育大学大学院・兵庫県西宮市立甲武中学校）
- (4) 習得した知識の活用場面を組み込んだ室町時代を大観する授業
谷聡（樫原市立白樫中学校）

【第15分科会】B206

司会 樋口雅夫（国立教育政策研究所）

- (1) 価値観の主体的形成を目指した小学校社会科授業開発
— トゥールミンモデルの活用と方法に着目して—
赤淵貴昭（鳴門教育大学大学院）
- (2) メディア・リテラシーの涵養を図る授業の開発と評価（2）
○田中一裕（新潟県立新潟江南高等学校）・峰本 義明（新潟青陵大学短期大学部）
- (3) 社会参加学習論の批判的考察
— 「現れの公共性」に着目して—
岩野清美（和歌山大学）
- (4) 社会参画学習論に拠る授業プランの開発（その3）
— 「日本画」の誕生に関わる中学校社会科歴史教科書記述の検討—
吉田正生（文教大学）
- (5) パフォーマンス課題からみた意思決定型授業実践分析
— 「真正性」に着目して—
○豊嶋啓司（福岡教育大学）・坂井清隆（西南学院小学校）・
柴田康弘（飯塚市立小中一貫教育校穎田校）

【第16分科会】B207

司会 峯岸由治（関西学院大学）

- (1) 小学校社会科における科学性を担保した概念形成学習の授業開発
渡邊啓介（鳴門教育大学大学院）
- (2) 思考の評価のための『+タグ』ウェビング法」の開発
—小学校第五学年「水産業のさかんな地域」の実践をとおして—
寺岡寛史（兵庫教育大学大学院・兵庫県宝塚市立売布小学校）
- (3) 社会科における知識の獲得と批判的思考
浅野光俊（岐阜大学教育学部附属小学校）
- (4) 「認知図」による子どもの「思考」の評価
—空間軸、時間軸の形成に着目して—
大西慎也（京都ノートルダム女子大学）
- (5) 社会問題に対する思考力育成を重視した社会科授業
—「定義闘争としての社会問題」を扱う授業の場合—
土肥大次郎（長崎大学）

【第17分科会】B208

司会 田中伸（岐阜大学）

- (1) 論争問題学習における教師の見方と役割に関する研究
—米国の論争問題学習研究の整理をふまえて—
岩崎圭祐（岡山大学大学院）
- (2) 中学校社会科教師の社会科教科観・授業観に関する実証研究
—先行研究の整理とインタビュー調査をふまえて—
岡島春恵（岡山大学大学院）
- (3) 授業実践記録分析にもとづく教師の実践的知識の形成過程の実証的研究
—ナラティブ・アプローチの問題点を越えて—
漆畑俊晴（東北大学大学院）
- (4) 社会科授業の課題解決支援プログラムの研究・開発
—教師と教師教育者の専門性向上のために—
○草原和博（広島大学）
渡邊巧・阪上弘彬・大坂遊・金鍾成・稲垣和・岡田公一・河原洗亮・斉藤弘樹
迫有香・竹内和也・辻幸大・守谷富士彦・山口安司・山田薫・岩下真也・上嶋智江
小川征児・木坂祥希・魏思遥・佐々木拓也・辻本成貴・寺嶋崇・杠拓哉・山田健司
（広島大学大学院）